【宮崎県】

宮崎県立飯野高等学校
ＲＥＳＣＲＯ～ファッションリメイク～

活動をスタートさせた理由

１年生の時、校内の探究活動発表会であるグローカル学習成果発表会で３年生の発表を見た際、感銘を受け、自分たちも何かできないかと模索する。その後、さまざまな案を出すも金銭面や活動時間などの問題から苦戦を強いられる。その後もいい案が浮かばず２年時の発表会で再び探究心がわき社会問題や地域問題について考える。自宅に大量の不要衣類があり、自分たちが学んできたファッションデザインのスキルを活かして何かできないかと考えこの取り組みをスタートした。

実践に向けた取組み

チャレンジ①　学校規模で不要になった衣類を回収し、発展途上国に送る企画・実践　断念

→実際に青年海外協力隊として派遣されている方にインスタグラムのＤＭにて発展途上国の現状や衣類について質問
→現在中国などから大量に安い服が輸入されているということや、現地の人々の間で取り合いになるなどの課題や郵送費用の課題が多い。

進行中

チャレンジ②　地域に還元し社会課題を考える企画・実践

→不要になった衣類を使って地域の福祉施設が求めるものにリメイクし提供
→衣類の無駄を削減、地域の高齢者や幼児とつながる機会を作ることもできるのではないか
→衣類のリメイク方法について考えバックやグランドゴルフクラブ入れなどの作り方を考案し全校生徒を対象に講座を開いたり、実際に作ったものを地域の体育館やまちづくり協議会などに提供することと同時にチラシなどを配らせていただくことにより、リメイク方法を広めることにつながりさらに衣類の処分率削減につながりＳＤＧｓの面でも有効的な活動になる。

企画提案・実践

①地域の福祉施設：えびの涼風園、なかよし認定こども園、ふじ幼稚園、飯野保育園にアンケート
→各施設で需要のあるものを把握
→自宅に余っていた衣類を解体し需要のあるもの（エプロンやコースター雑巾など）にリメイク
→各施設向け作成したものを配布する。

②作ったものを渡すだけでなく保育園であればエプロンの試着体験や靴紐結び練習などを配布しに行くと同時に行うことにより園児との交流の機会を作る。（ボランティア２名参加）
→えびの涼風園に関しても同時に交流会を開催していただくことにより交流の場を作ることにつながった
→その他施設に関しても今後作成したものを配布させていただく予定。

③不要になったズボンを使ったバックやグランドゴルフクラブ入れなどを考案。
→学校規模で不要になったズボンを回収（進行中）→校内でリメイク講座を開催（予定）
→リメイク講座にて作成したバックなどを地域の体育館やまちづくり協議会に寄付すると同時にバックなどの作り方を乗せたポスターも掲示させてもらい、リメイク方法について市民の皆さんに知っていただくきっかけを作る（予定）

リメイクに向けた藍染の実践

ズボンのリメイク

リメイクした小物入れ

リメイクしたコースター

リメイクしたエプロン

高齢者施設での交流会

作り方講座動画の作成

保育園への贈呈

効果

不要になった衣類を再利用することによって衣類の処分率が低下することによりCo2排出量の減少も期待できる。SDGｓ作る責任使う責任などの観点からみても有効的な活動であると考える。活動を通して保育園児や高齢者との異世代間での交流の機会を増やすことにつながる。今後の展望次第では衣類リメイクを通じた地域コミュニティをつくることができるのではないか。

今後の展望

リメイク講座を市内の小中、さらには地域のコミュニティーセンターなどで行い市民の皆さんに「リメイク」の素晴らしさを知ってもらう。この思いが簡単に衣類を捨てずに作り変えて再利用するという考え方につながり環境にも優しいリメイク品が増える。「リメイク講座」からコミュニティーを確立させ地域課題とされている交流の場が少ないという点の解消にもつなげていきたい。